



七里っ子

道志小学校 学校だより 令和7年 7月18日

【学校教育目標】

確かな学力 豊かな心
健康な体 郷土愛
文責：校長 深沢昭彦

72日間プラス入学式なので、1・5・6年生は73日間の1学期が終わります。70日を超えるので長いように思ったかもしれませんが、きっとあっという間の1学期だったという人がほとんどだろうと思います。

始業式で話した「かしこさ」「やさしさ」「たくましさ」「郷土愛（ふるさとへの関心の高さ）」から振り返ってみたいと思います。

かしこさ

毎日の授業で、いろいろな内容を学んできました。教科書を読むだけでなく、仲間と協力して劇として発表してみたり、実際に身の回りのものを測ったりと生活と結びつけながら勉強してきました。また、遠足やキャンプ、修学旅行をはじめとした校外学習で、勉強したことを自分の目で確かめもしました。さらに、自主学習に取り組み、興味関心のあることについて自分から勉強しました。児童会活動や休み時間、放課後の出来事から学んだことがあるよ、という人もいます。このような1学期の学習活動を通して全員が賢くなり、できることが増えていっていると思います。いろいろなことを吸収してもっと賢くなってほしいです。

やさしさ

道志小の全校児童みんな仲良しだな、優しいなど1学期間過ごしてみて感じました。学年関係なく名前を呼んであいさつしたり、下級生がブランコで遊んでいると上級生が優しく背中を押してあげたりする姿を休み時間等に見ることができました。また、児童会活動の「友達の良い所見つけ」を見ると、仲間のよさが書いてあるだけでなく、「〇〇してくれてありがとう」と感謝の気持ちが書かれているものもありました。日頃の生活の中で仲間との関係が築かれ、信頼や思いやりの心が生まれてくるのだと思いました。もっともっと、ありがとうの言葉があふれる道志小にしていきたいと思っています。

たくましさ

ほとんどの児童がスクールバスで通学しています。そのため体力面で不安がありますが、子どもたちは不安を取り除くかのように休み時間や放課後には元気に外へ出て遊んでいます。特に、低学年は一輪車に挑戦している児童が多いです。また、春の遠足では、仲間と声を掛け合い、歩いて、的確の滝へ行ったり、鳥の胸山に登ったりしました。キャンプではウォークラリーを、修学旅行では鎌倉散策を仲間と協力して自分たちの足で目的の場所にゴールしました。さらに体と共に心のたくましさも身に付けさせたいと思います。

かんしんのたかさ

道志村に住む様々な人の協力を得て、児童はふるさと道志への関心を高めていると思います。村内を歩いて巡った遠足はもちろんですが、横浜市の水源でもある道志川でのフィッシング体験や間伐体験、地域の食材を使った給食とそれに関するお話を聞くなど、いろいろな体験を通して道志のことについての学習を深めてきました。他にも診療所の先生から心肺蘇生の方法をおしえてもらいました。学校にいる仲間だけでなく、地域の大人とも関わっていく中で、ふるさとに対するおもしろい育んで行けたらと考えています。

夏休みに入ります

1学期始業式で児童に話した言葉にあわせて振り返りました。まだまだ子どもたちは成長途中です。さらに力をつけていくために、夏休みだけではないですが、まずは命を大切に健康に過ごしてほしいと思います。夏休み期間中は家族と過ごす時間がいちばん長くなります。家族で過ごす時間を子どもたちと一緒に楽しんでほしいです。よろしくお願いいたします。